

第4号は、令和4～6年度 **卒業生のアフターケア** の集計を報告します。



## 【アフターケアとは】

卒業後の進路先や家庭での状況を把握することで、必要に応じて支援にあたると共に、在校生の進路指導の参考にする目的で、過去3年間の卒業生に聞き取り調査を行っています。

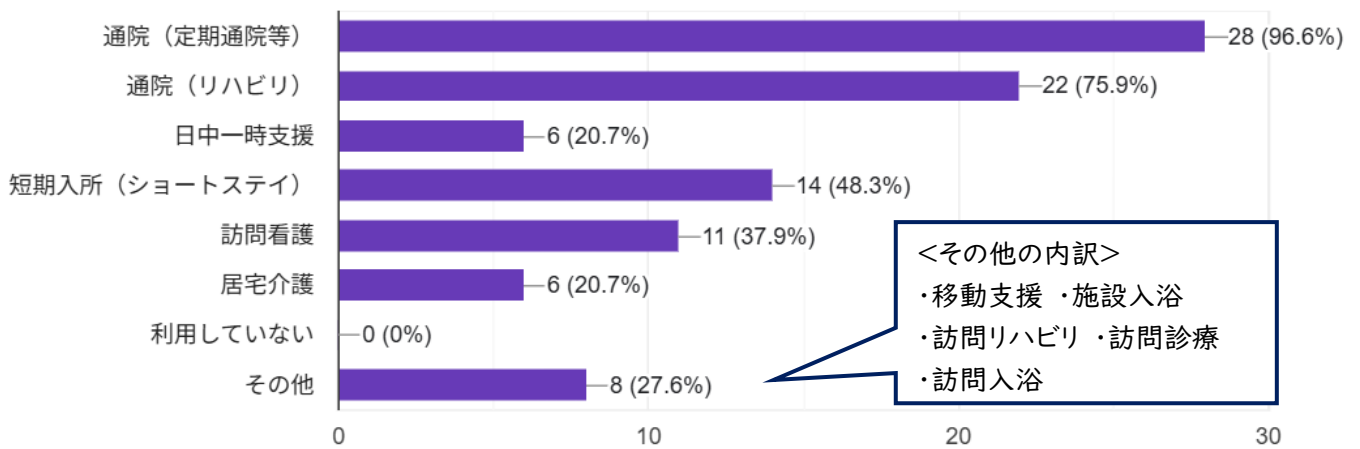
(1) 回答率 35人/47人 74%

### (2) 現在の進路先 (人)

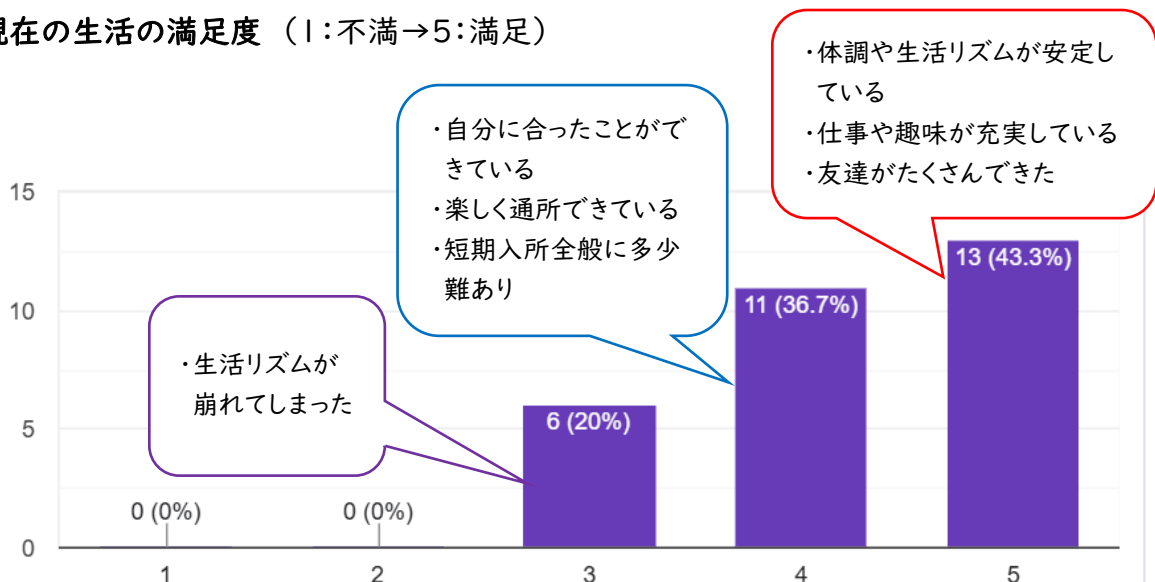
進学(通信含む)	2	A型	0	生活介護	21
大学聴講生	0	B型	2	施設入所	5
企業	1	就労移行	2	自立訓練	0

\*生活介護併用利用 13人

### (3) 進路先以外で利用しているサービス (複数回答)



### (4) 現在の生活の満足度 (1:不満→5:満足)



## (5) 主な余暇の過ごし方

- ・ 家でのんびり過ごす
- ・ ドライブ、キャンプ、旅行
- ・ プラネタリウム、水族館
- ・ 同級生だった友達との交流
- ・ 学生のときに行っていた学童で友達や職員の方とのおしゃべり
- ・ 散歩
- ・ 買い物、外食（公共交通機関や移動支援を使って）
- ・ ゲーム、映画鑑賞、音楽鑑賞、インスタ
- ・ Tiktok・YouTube 鑑賞、スポーツ観戦
- ・ 視線入力の部活動への参加
- ・ ピアノ教室
- ・ 教会
- ・ 英会話教室
- ・ ボッチャ活動
- ・ 三味線演奏
- ・ ぶるぶるクッションで筋肉を柔らかくする



## (6) 在校生へのアドバイス

※キャリア教育リーフレットで示した項目と重なるところを赤で示しました。

- ・ 仕事を頑張るのはもちろん、自分の好きなことを見つけたり楽しみなことも増やせたりするとよい。
- ・ 頑張りすぎないように、自分のペースでなるべく体調を崩さず、元気に仕事に行けるとよい。
- ・ 学校でやってきた活動や、クラスメートとのコミュニケーションなどが卒業後とても役に立っている。「これをすると楽しい。」「参加すると面白い。」「やり切ると達成感を感じる。」と思えることをたくさんしてきてよかったと思う。みなさんもぜひ卒業までワクワクしたりドキドキしたりする体験を在学中にたくさん経験してください。
- ・ 卒業後はやはり長い道のりになってきて考えることがたくさん増えるが、物事に焦らず落ち着いて行うことが大事だと思う。学生のうちにたくさん学び、将来についてまとめていくとよい。
- ・ なるべく多くの選択肢がある方がよい。
- ・ 早くから施設見学をしておくと思う。障害の状態は人それぞれなので、卒業生の方の意見が必ずしも自分の子に当てはまるとは限らない。
- ・ 今できることに全力で取り組む。
- ・ コミュニケーション能力を磨く。
- ・ 学校の情報以外にも、相談事業所の支援員の方に早く情報が入ることもあるので頼ることも大切だと思う。
- ・ 就労移行支援を受けていて感じたが、実習や学校生活で得た経験は役立つ場面が多い。なので、自信をもって挑戦することが大切だと思う。

## (7) 最近の生活で気になること、心配なこと

- ・ 同級生となかなか会えなくて本人がちょっと寂しそう。在学中より体重が増えやすくなってびっくりしている。活動量をどうやって増やそうかと思っている。
- ・ 就職先の環境に合わず退職してしまったので、これからちょっとずつ考えていくことになり、どういう風に進むか決まっていない。就職先を考える前に、年金や指定難病などの大事な書類を済ませて落ち着いた頃に就職先を考えていきたいと思う。
- ・ 体調が安定しない。
- ・ 体調の変化に伴い手術を行う予定がある。
- ・ ショートステイ等のサービスを利用した方がいいとアドバイスをいただいているが、まだ利用できていない。
- ・ 最近の生活では、まだ心配なことはないが、親が老いたり病気などで介助できなくなったりする将来の生活が心配。

卒業生やその保護者が、在学中から取り組んでいてよかったこと、取り組んでおけばよかったと感じていることの多くが、類型ごとに示したキャリア教育リーフレットの中に「キャリア教育で育てたい力」として示されています。HPでも公開していますので、ぜひ進路を考える際の参考にしてください。

キャリア教育・進路指導のおさえ (II類型①) 12年間のあゆみ

令和6年 3月改訂  
静岡県立西部特別支援学校

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	
進路指導 (家庭)	・ 福祉事業所見学 ・ 学校や家庭以外で外部の人と関わり、健康な体づくりに努める						【卒業後の進路先】 ・ 高等部進学 → 本人の実情に合った類型選択 ・ 福祉施設利用 → 相談支援事業所と連携し、利用先を具体的に決める	・ サービス利用と家庭生活が成立するか確認 ・ 産業現場等における実習 ・ 具体的な進路先の選定 ・ 相談支援事業所との連携					
キャリア教育	生活のリズムを整えることで自分ができること、好きを知る。						自分の健康管理に努める	自己の健康管理と保持増進に努める					
	基本的な生活習慣の確立を図る						主体的に学習に取り組み、基礎学力を身に付ける	自分から積極的に発表や活動に取り組み、 ・ 豊富な言葉の指示を理解して行動する。					
	自分で表現する力やコミュニケーション力を習得する						生活習慣の定着を図る	生活習慣の定着を図る					
	積極的に物事に取り組む力を身に付ける						自分の役割を教師に伝える。 ・ 自分で授業や進路先を提案する。	自分の役割を果たすとともに、職業及び働くことの意義を理解する ・ 決められた係や活動を進んで毎日行う。 ・ 作業学習で担当工程に時間いっぱい取り組む。					
	好きなことを見つめる						好きなことを増やし、興味関心の幅を広げる	余暇を有意義に過ごす力を身に付ける ・ 自宅や放デイで楽しみな活動や好きな活動がある。 ・ 趣味のあることについてやり方や操作が分かる。 ・ 楽しみながら過ごす術がある。					

## ★1年間ありがとうございました★

今年度、進路指導課では、将来を考える手掛かりとなればと、進路だよりを発行してきました。来年度も、高等部の産業現場等における実習の報告会に保護者の皆様にも御参加いただくなどの計画をしています。引き続き、御家庭と学校、また他機関と進路情報を共有できるよう取り組んでいきたいと思ひます。

今年度の卒業生の進路先については、来年度最初の進路だよりでお伝えする予定です。

